

学校の風景⑱ 7月12日(水)～18日(火)

■ 7月12日(水)～13日(木) インターンシップ(大谷高校生来校)



将来、教職員を目指す高校生(卒業生を含む7名)が来校しました。

高校生は、授業見学や学習支援を行い、最終日には中学生へのプレゼンを行いました。

自分の経験談を交え、中学生の勉強法や生活の心得、進路の見通しなど、対象学年に応じた内容で自作カードなどを使いながら工夫してお話ししました。中学生は、「年の近い先生」から進路や将来像について多くの刺激を受けていました。



なお、8月2日(火)～4日(金)に本校で行われる「夏休み学習会」にも、高校生が参加してくれる予定です。

■ 7月18日(火) 授業参観日

4年ぶりに全校一斉の授業参観・懇談会を実施し、138家庭(56%)の皆様にご来校いただきました。久しぶりに大人数の保護者が一堂に会し、子どもを真ん中に参観や懇談する姿はどこか懐かしく、素敵な学校の風景でした。



授業参観は、各階のオープンスペースや広めの特別教室を会場に、国語、社会、英語、音楽、美術、技術、家庭科の授業を行いました。子どもたちはちょっと緊張しながらも、いつものように取り組もうとしていました。

その後、体育館で全体懇談会を行いました。そこでは、校長より1学期のお礼と「今後もつながりを大切にしていきたい」というお話、教頭からは子育てにかかわる小話で「将来にとって、正解はどちらなのか」という疑問を投げかけました。



学年懇談会では、夏休みの生活、修学旅行(2年)、進路(3年)などについてお話し、その後の学級懇談会では、子育てにかかわる動画(1年)や学級の様子、個別の面談などを行いました。

密なスケジュールでしたが、最後までお付き合いいただいた皆様、大変お疲れ様でした。授業参観・懇談会は、子どもの様子をご覧いただくことと、保護者同士、先生と保護者がつながる機会として開催しています。主旨をご理解いただき、お忙しい時期、暑い中をご来校いただき、本当にありがとうございました。2学期もよろしく願いいたします。

学校の風景⑳ 7月18日(火)

■ 7月18日(火) コミュニティー・スクール協議会(学校運営協議会)

授業の様子を参観した後、本校の教育活動について評価・助言をいただきました。

<評価・助言の概要>

- ・生徒自身が選択できるような幅を用意しており、自己判断や自己決定する機会が設けられている点が良い。人権を尊重する上でも大切なことなので、継続してほしい。
- ・教育活動計画(5月の学校だより)の取組を保護者・教職員で共有し、そのねらいに沿って一つ一つ積み上げている点が良い。今後、学校評価等を活用して、取組の成果や、その要因を分析し、改善を重ねていくことが大切である。
- ・授業参観・懇談会の参加者が多く、保護者の学校への理解が進んでいると考えられる。通信等を活用しながら継続していくとよい。
- ・参観時に声をかけてくれる生徒がいた。1年生も朝の交通指導の時にしっかり挨拶をしてくれるようになった。成長していく姿を見て、嬉しく思う。
- ・学ぶ喜びを感じられる授業づくりを進め、楽しい学校、総合的な人間力を高める学校を目指してほしい。
- ・小・中・高、地域団体との連携をさらに進めて、学校教育活動のさらなる充実を期待している。

学期末の節目、懇談会等の皆様のご意見も含め、改めて教職員で取組の成果や新たな課題を検証し、改善を進めてまいります。

■ 7月18日(火) 帯広市PTA連合会 緑園中グループ会議

「私たちは同じ地域のきょうだい学校、つながる、親しくなる一時に」をテーマに、本校を会場に緑園中・開西小・森の里小のPTA役員による交流会を行いました。



参加者20名(市P連役員を含む)は小グループに分かれ、

「楽しい自己紹介」、「各校やPTAの自慢」、「PTA活動や子育ての悩み」などを話し合い、交流しました。

最後に、市P連 野田会長より、「ボランティア制(森の里小)、一部サポーター制導入(緑園中)、統合による3部制(開西小)と組織形態が異なる3校なので、今後、取組の成果を交流することで、お互いに参考になると思う」という感想が出されていました。

短い時間でしたが、各校のPTAが親しくなる良い機会となりました。次回は11月中旬を予定しています。

